

1993年入学組、全ての世界選手権に出場!

渡辺英男

今年もオリエンテーリング世界選手権では日本代表の方々が各種目で健闘されました。

その裏で、静かな記録が生まれていたことを知る方は少ないはずです。

それは、「1993年大学入学組が**全て**(フット・トレイル・MTB・スキー)の世界選手権代表になった」という記録です。

大学4年間でインカレメダリストとなった方はいません(*)が、オリエンテーリングを始めて約20年で日本代表に勢揃いすることになったのは感慨深いものがあります。

今回は代表の皆さんに質問をお送りして回答していただく形で各競技の魅力を語っていただくことにしました。

今回ご協力いただいた皆さん(出身大学:所属クラブ)【正式な競技名の「0」は省略】

【フット】

・柳下 大氏(埼玉大学:みちの会・Forester)

【トレイル】

・大久保 裕介氏(千葉大学:ES 関東クラブ)

【スキー】

・白鳥 桂子さん(信州大学:水簾刈)
・高橋 美和さん(信州大学:アークコミュニケーションズスキーチーム)

【MTB】

・多田 宗弘氏(筑波大学:多摩OL)

※なお、今回は入学年次が異なりますが、同年代(1974年度生まれ)という

ことで、

・宮内 佐季子さん(京都大学:ぞん

びーず) [(*) インカレ入賞者] にもアンケートをお願いいたしました。

※また大久保氏についてはオリエンテーリングマガジン2011年4月号・8月号の内容をもとに記入いただく旨了解を得ています。

《1・世界選手権出場実績》

全員が複数回(2回以上)の代表となっ

ています。出場年度と種目は以下の通りです。
(種目:L-ロング、M-ミドル、S-スプリント、R-リレー、X-ミックスリレー)

【フット】

・柳下氏
2010(ノルウェー):LR
2011(フランス):LMR

【トレイル】

・大久保氏
2007(ウクライナ):オープン
2008(チェコ):オープン
2009(ハンガリー):オープン
2011(フランス):オープン

【スキー】(2年毎の開催、ただし2004・2005のみ連続開催)

・白鳥さん
2002(ブルガリア):LMSR
2004(フィンランド):LMSR
2007(ロシア):LMSR
2009(日本):MSR
2011(スウェーデン):LMR
・高橋さん
2005(フィンランド):LMS
2007(ロシア):LMSR
2009(日本):LMSR
2011(スウェーデン):LMSRX

【MTB】

・多田氏
2007(チェコ):LMSR
2008(ポーランド):LMSR
2009(イスラエル):LMSR
2010(ポルトガル):LMSR
2011(イタリア):LMSR
・宮内さん
2009(イスラエル):LMS
2010(ポルトガル):LMSR
2011(イタリア):LMSR
なお、宮内さんはフットで以下の出場歴があります。
2003(スイス):L
2004(スウェーデン):LSR
2005(日本):LSR

初出場は皆さん21世紀(2001年)に入ってからですね。

上記以外での同期では他に林(旧姓:中村)正子さん(筑波大学出身)がフットの世界選手権に出場しているのですが、彼女も2001年(フィンランド)の代表ですので、やはり21世紀初出場ということになります。

出場回数でみると、宮内さんの6回、多田氏・白鳥さんの5回が光ります。

さらに、白鳥さんは2005年に、高橋さんは2010年にお子さんが生まれている(=ママさん代表)という事実も見逃せません。

《2・世界選手権での最高順位》

【フット】

・柳下氏
[個人]
2011(フランス):ミドル予選23位
[リレー]
2010(ノルウェー):29位(1走)

【トレイル】(リレー形式の団体戦はなし)

・大久保氏
[個人]
2007(ウクライナ):オープンクラス6位

【スキー】

・白鳥さん
[個人]
2007(ロシア):ミドル31位・ロング31位

[リレー]
2007(ロシア):8位(2走)
2009(日本):8位(3走)

・高橋さん

[個人]
2011(スウェーデン):ミドル31位
[リレー]
2009(日本):8位(2走)

【MTB】

・多田氏
[個人]
2011(イタリア):ロング22位
[リレー]
2009(イスラエル):15位(1走)
2010(ポルトガル):15位(1走)
・宮内さん
[個人]
2010(ポルトガル):ミドル14位
[リレー]
2011(イタリア):10位(2走)

唯一、大久保氏が入賞(2007年-6位)を果たしています。

《3・世界選手権での最も印象的だったエピソード》

レッグ/コントロール/会場/トラブル等、自由に記入をお願いしたのですが、それぞれ記録には残らないところで面白いエピソードを寄せて下さいました。

【フット】

・柳下氏
2011(フランス):ロング予選のロン



MTBO 世界選手権 2011 での宮内佐季子選手

グレッグ (12 番 (55) - 13 番 (41))
予選には相当大胆なレッグでしたが、ティエリ・ジョルジュ (フランス) が他の選手を 1 分以上離してトップラップ (13 分 7 秒) でした。

この時点で彼は 3 冠とるだろうなあと思えました。

【スキー】

・白鳥さん

2007 (ロシア) : リレー

全力を尽くし、ゴールした瞬間に倒れたこと。

(参考: オリエンテーリングマガジン 2007 年 4 月号表紙に白鳥さんの写真があります)

・高橋さん

2009 (日本) : ミドル

競技中にマップホルダーが壊れ、口にくわえて競技したこと。

(注: 両手にストックを持つため、地図読みを行うためにはマップホルダーに地図を固定する必要があります)

【MTB】

・多田氏

2011 (イタリア) : リレー

1 走スタート直後、上り坂で全員ごぼう抜きしてトップに立ちました。コントロール位置が一番奥だったこと、2

番でミスしてしまったため、記録には全く残っていませんが…。

・宮内さん

2011 (イタリア) : リレー

一度は追いつかれたフィンランドのペースを振り切って 3 走にタッチしたこと。

《4・この競技を始めたきっかけ》

世界選手権のエピソード同様、多様な回答が集まりました。

【フット】

・柳下氏

子供の頃にやったオリエンテーリングが楽しかった思い出があってまたちょっとやってみたいと思ったのがきっかけでした。

【トレイル】

・大久保氏

同じ所属クラブにトレイルOをされている方 (杉本光正さん・宮川祐子さん) がいたこと。

【スキー】

・白鳥さん

研究で訪れていた旭岳温泉で酒井佳

子さん (スキーOの女子第一人者) にお会いしたこと。

・高橋さん

大学卒業後に木村佳司さん (長野県協会) に誘われて大会に参加し、とても面白かったので。(その大会の抽選会でスキー板が当たったし。)

【MTB】

・多田氏

クロストレーニングの一環で 6 万円位の MTB を購入 (2005 年 12 月)。力試し (どのくらいダメかを確認する) で MTBO のレースに遊び半分で出たら、まさかの 1 位。(2006 年)。

・宮内さん

樋口一志さん (朱雀 OK) に誘われて。

《5・この競技に特徴的なトレーニング方法 (地図読み・走法・ルート取り等)》

ここからは、自分も競技を始めてみようかなと興味を持った方に、情報提供していただくための質問を用意しました。それぞれの競技の特性がよく出ています。

【フット】

・柳下氏

地図を読み走・コンパスワークの練習・机上でのプランニングなど

【トレイル】

・大久保氏

トレイルOは忍耐の連続であり、自信なく回答した後でも「自分是可以」という意識を持つこと。

【スキー】

・白鳥さん

地図読み: 地図上に示された複雑なネットワークからルートを選ぶので、ルートチョイスを単純化する練習をしています。

走法等: スキーオリエンテーリングは、クロスカントリースキーのスケータリング走法で行いますが、技術向上のためにクラシカル走法もトレーニングに取り入れています。また、スキーをしながら地図を読む練習やインターバル等も行います。積雪のない時期は、ローラースキー、トレイルラン、パークオリエンテーリング等を行っています。

・高橋さん

地図を見てパッとルートを記憶する練習

板を開くことの出来ない細い道を進む練習

【MTB】

・多田氏

ひたすら MTB に乗る。(1 日で 5~6 時間は当たり前)

・宮内さん
市街地の地図を使ったコンピなどのトレーニング
等高線を読むことも大切だが、道のネットワークを読みきることが重要なので、特にこまごました集落での練習が効果的。

《6・競技に必要な、特別な装備と費用一式(ウェア・コンパスは除きます)》

スキーとMTBでは、フット・トレイルにはない装備が必要になります。

初心者ほどどれくらいかかるのか不安なところですね。

【スキー】

・白鳥さん/高橋さん
マップホルダー、スキー、ストック、スキー靴(費用一式は不明)

…スキーOを少しかじったもの(渡辺)からコメントしますと、上記一式を新品で揃えた場合10万円前後になりますが、中古ですと3~4万円前後で揃えられます。

この他に競技の高速化には欠かせないスキーワックス(&アイロン)も必要です。

【MTB】

・多田氏
MTB、シューズ、ヘルメット、グローブ
安いのだと一式10万だが、ちゃんと競走するのなら最低でも30万は必要かと。(自分は今のバイクに50万位つぎ込んでいます)
・宮内さん
自転車+専用の靴10万円~
MTBは構成部品が多いことが金額の違いに反映されていますね。

《7・この競技の魅力》

競技の特性を織り込んだコメントをいただいています。

【フット】

・柳下氏
ナビゲーションしながら日本や世界のいろいろな地形の中を走ることです。
地域によって特徴があって面白いです。

【トレイル】

・大久保氏
時間をかけて考えることができること。

【スキー】

・白鳥さん
冬に森の中をスキーで走ることです。トレーニング中にキツネ、アカゲラ、エゾリス等野生生物と出会うこともあります。
・高橋さん
スピード感、爽快感

【MTB】

・多田氏
ルートチョイスの幅の広さとスピード感。

オリエンテーリングの魅力は、「フアインな地形を読み切つてピンポイントでアタックする」と「ルートチョイス」だと思っているが、後者に楽しみを覚える人に特にオススメ。

・宮内さん
登り、平地、下りで速度が大きく違うので、ナビゲーションの内容も変わるところ。

下りは特に次々に情報を処理しなければならないので、かなりスリルがある。

《8・若いオリエンティアへのメッセージ(競技への勧誘大歓迎です)》

未来のライバルへメッセージをいただきました。

【フット】

・柳下氏
来年(2012年:スイス)の世界選手権に向けてのトレーニングプログラムに多くの選手が参加してくれることを期待します。

【スキー】

・白鳥さん
海外では20代の若い選手が活躍しており、これからオリエンテーリング界、スキー界から若い選手が育ってくればと思います。昨シーズンから北大生や娘と一緒にクロスカントリースキーのトレーニング(練習会)をしています。北の大地で若い選手を育てていきたいです。興味のある人は是非スキーオリエンテーリングを始めませんか。お待ちしております。

・高橋さん
特別な道具が必要でお金が掛かりそうなイメージがあるかもしれませんが、最初は借り物で十分です。まずは、体験しに来てください。

【MTB】

・多田氏
競技人口がとても少ないため、希望者がほぼ全員世界選手権に出られる状態です(男子・女子いずれも)ので世界選手権に出てみたい、という人は結



白鳥桂子選手

果を恐れずに一度やってみましょう。
(自分も初遠征のときはほぼ最下位でした。)気軽に声をかけてください。

・宮内さん
オリエンの大会でちょこちょこ体験イベントをやっているのので、興味のある方はぜひ一度MTBに乗ってみてください。

…学生の時にはフットO以外の競技に触れる機会は少ないですが、上記の通り、社会人になってから日本代表で出場した競技を始めた人がほとんどです。皆さんにも日本代表になるチャンスはあります。是非ともチャレンジしてはいかがでしょうか?

<筆者自己紹介>

1973年生まれ。1993年に千葉大OLCに入学し、社会人になってからは地域クラブに属さずオリエンテーリングに親しむ。最近ではロゲイニングが気に入りで、「人並み以下の体力でいかに高得点を取るか」に情熱を燃やしている。

(渡辺英男)